



vol.32
2020.10

美 三 び さん

広島県看護協会三原・尾道支部会員数

保健師	31人(入会率21%)
助産師	44人(入会率79%)
看護師	1,827人(入会率61%)
准看護師	153人(入会率11%)
合計	2,055人(入会率45%)

支部長挨拶

今こそ看護の力を活かした、 施設間での連携した取り組み

三原赤十字病院 大島 玲子



昨年度より引き続き、三原・尾道支部の支部長として活動を行っております。支部会員のみなさまには、平素より支部活動に、ご理解とご協力を頂き、心より感謝いたします。

令和2年に入ってから、新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、これまで当たり前に行っていた日常生活も一変しました。当支部地区での医療や介護の現場、また、教育の現場で働いておられる会員の方々も、大変に多忙でご苦勞の多い日々を送っておられることと思います。

この感染症を予防するために、令和元年度の研究発表会を中止としました。1年間、研究に取り組んでこられた方々の発表の機会がなくなり、本当

に申し訳ございませんでした。また令和2年度支部総会・総会後研修・進路相談会・救急蘇生研修会・社経研修会など多くの研修会を中止しました。まちの保健室も今年度はすべて中止し、これまではない年度となっております。

今後、この感染症の終息はまだまだ見えない状況です。看護職が施設間での連携を図り、今こそ看護の力を活かした地域への貢献ができるような活動に取り組みたいと思っております。また、これからも元気で活発な三原・尾道支部の活動を継続して参りたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。



三原・尾道支部 活動報告

「三原市民保健・福祉まつりに参加して」

三原市医師会病院 西村 恵

昨年10月26日三原市民保健・福祉まつりに看護協会三原・尾道支部協力員として参加させていただきました。

何度か参加させていただいていましたが、市役所の移転に伴い、三原市中央公民館での開催となり、三原駅より少し離れているため参加者が減るのではないかと



心配しましたが、特にそのようなこともなく、多くの市民の方に来ていただき安心いたしました。

血圧測定、体脂肪率測定、BMI測定、健康相談をそれぞれのブースに分れて行いました。

皆さん、それぞれの測定は勿論ですが、健康相談コーナーでは身体のこと以外にも色々話をされ、それに対し協力員が一つひとつ対応することで皆さんに喜んでいただくことができました。

「何かする(してあげる)」ことに捉われず、自然に行動をする(話を聴く)こと、私たち看護師本来の役割「傾聴」の大切さを改めて感じました。こうした活動を通し、他施設の方との親睦を深めることも出来ました。今年度はコロナの影響で中止となってしまいましたが、また機会があれば参加させていただきたいと思います。

「第37回おのみち市民健康まつりに支部役員として参加して」

山本病院 山本 奈緒子

初めての参加だったため、前々日のブースの準備から始まり当日まで、どのような祭りなのか想像もつかないままその日を迎えました。

看護協会のブースでは血圧・体脂肪測定、脳年齢測定、血管年齢測定、健康相談などを行います。「毎年ここで測定してもらおうのを楽しみにしている。」と言われ、昨年の記録用紙を持参されている市民の方もいらっしゃいました。特に脳年齢測定は長蛇の列ができるほど人気で、かなり待ち時間はありましたが、みなさん結果をご夫婦、友人と見せ合いながら楽しまれていました。

今回、おのみち市民健康祭りに参加し、私が一番印象に残っていることは協力会員の方の姿です。協力会員の中には以前にも参加されたことのある方もいたようですが、簡単な説明を受けたあと臨機応変に自分の持ち

場で測定し、笑顔で健康相談に対応する姿を見て、改めて看護師さんって素敵だなと感じました。

看護協会ブースの利用者は総数361名で、片づけが終わるころには少し疲れもありましたが、普段の業務では感じられない看護師としての誇りを感じることができ、とても有意義な一日でした。



社経担当組織強化研修会

「Team STEPPSを応用した感染管理」を開催して

公立世羅中央病院
保永 和範

昨年、社経担当として令和元年度の組織強化研修会を企画・開催しました。今回は、担当講師とのアポイントメントなどは行わなかったものの、当日の司会進行をさせていただきました。研修など多くの人の前に立ち、司会をすることは初めてでありとても緊張しましたが、皆様にご協力を頂き大きなトラブルもなく無事に研修を終えることができました。

今回の研修では、尾道市立市民病院 感染管理認定看護師 内海友美氏をお迎えし、感染防止対策の基本的な考え方をはじめ、感染管理に係る組織体制や感染防止対策の実際などについて御講義いただきました。研修の中で特に印象に残ったものとして「2チャレンジール」や「クロスモニタリング」といった、実際の臨床現場ですぐに活用できるスキルを学べたことです。現在、世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っています

が、患者様の安全を第一に研修で学んだことを実践していきたいと考えています。

今後も新型コロナウイルス感染拡大により研修会開催の是非については先行き不透明ですが、三原・尾道支部の協会の方のニーズにあった研修会を開催できるよう取り組んでいきたいと思っております。



「オリジナルハーバリウム作り」に参加して

興生総合病院 田中 友理

令和元年12月7日に開催された交流事業では「Princess fleur」澤村知代氏を講師にお迎えし「オリジナルハーバリウム作り」が行われました。役員を含む48名が参加し、そのうち3名は男性看護師でしたが男女問わず楽しい交流会になりました。ハーバリウムは、カラフルなドライフラワーやリーフ、木の枝などをピンセットで小さな瓶に詰め、最後にオイルを入れて完成しました。オイルを入れると色彩に変化が起り、イメージと少し違った作品になりました。クリスマス間近で、赤や緑などクリスマス



をイメージした作品もあり、個性あふれる48通りの作品が完成しました。事業後アンケートには「楽しい時間を過ごすことができた」「リフレッシュできました」「ゆったりとした気分で癒されました」との回答もあり、会場は忙しい日常を忘れられる温かな雰囲気にも包まれていました。

新型コロナウイルス感染対策のため、県看護協会は元より三原・尾道支部圏内でも様々な研修や事業が中止になっています。少しでも早い終息と日常が戻りますことを心から願っております。

令和2年度 事業計画

研修事業

- 支部総会後研修／4月11日 ※
- 社会経済福祉研修会／8月8日 ※
「アンガーマネジメント」
- 救急蘇生研修会／9月12日 ※
- 組織強化研修会／11月21日
「ストレスマネジメント」

研究事業

- 看護研究発表会／令和3年2月27日

看護広報事業

- 進路相談会／6月27日 ※
- 支部だより発行／10月31日

関連職種地域連携事業

- 関連職種地域連携研修会／12月5日
「ペップトーク」

交流事業

- 苔テラリウムづくり／10月3日

地域看護事業

まちの保健室

- 尾道みなとまつり／4月25・26日
- 三原市民保健福祉まつり／10月31日
- おのみち市民健康まつり／11月8日
- フジグラン三原
- 尾道市総合福祉センター
- 甲山ショッピングモールパオ

※の事業及びまちの保健室につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により中止となりました。

令和2年度 役員紹介



会議風景

役員名	氏名	所属
支部担当理事	樋本 瑞江	JA尾道総合病院
支部長	大島 玲子	三原赤十字病院
副支部長	岡野 里美	因島総合病院
副支部長	蛙前 規水	三菱三原病院
幹事(総務)	田中 友理	興生総合病院
幹事(財務)	柿本 文重	JA尾道総合病院
幹事(教育)	大本 倫子	尾道市立市民病院
幹事(教育)	柿迫ゆかり	三原看護専門学校
幹事(社経)	保永 和範	公立世羅中央病院
幹事(社経)	植田 香織	公立みつぎ総合病院
幹事(社経)	森 深雪	村上記念病院

編集後記

今年度も会員の皆さまのご協力のもと、広報誌32号「美三」を無事に発行することができました。

今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、現段階で様々な研修会が中止となっていますが、すべての人のご健康と再び活気のある日常に戻り元気な姿を拝見できることを祈念し編集後記といたします。

保永 和範・植田 香織・森 深雪

[発行日] 令和2年10月31日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 三原・尾道支部事務所
〒723-0014 三原市城町3-1-1-210号

TEL/FAX:0848-64-1616

E-mail: s-mihara@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 大島 玲子